

2021 年度 家族関係学部会 総会
(議事録概要版)

日 時：2021 年 10 月 9 日(土) 16 時 10 分～17 時 15 分

オンライン開催
大会事務局：椋山女学園大学

冒頭、議長を渡邊千恵子氏に依頼することが全会一致で承認された。
出席者数 33名

2021年度 家族関係学部会総会次第

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事

<報告事項>

1. 2020年度事業報告および2020年度収支決算報告の役員会協議の結果（山根）
2. 会費納入状況（大風）
3. 入退会の動向と会員区分（山下）
4. ニュースレター発行、HP更新、メルマガ配信の状況について（永田）
5. 部会誌の編集について（表）
6. 部会誌バックナンバー販売と保管の状況について（山下）
7. 2020年度（第40回）家族関係学セミナーについて（久保）
8. 2021年度（第41回）家族関係学セミナーについて（吉田）
9. 海外学術交流について（李）
10. その他

<協議事項>

1. 入退会者の承認（山下）
2. 2022年度（第42回）家族関係学セミナーについて（山根）
3. 2022年度事業計画（案）について（山根）【資料1】
4. 2022年度収支予算書（案）について（大風）【資料2】
5. その他

5. 次期（第42回）セミナー実行委員長挨拶

【報告事項】

1. 2020年度事業報告および2020年度収支決算報告の役員会協議の結果（山根）

2021年6月6日に開催した役員会（オンライン開催）において、2020年度事業報告、2020年度収支決算について協議し、承認した。

→以上の報告があった。

2. 会費納入状況（大風）

2021年4月1日～2021年9月15日現在

会費納入必要会員数 167名（名誉会員 6名を除く）

<会費未納者>

3年分の未納者 3名・・・今年度未納の場合に除籍対象者

2年分の未納者 1名

1年分の未納者名 37名

2020年度会費納入状況：納入必要会員 175名中（名誉会員 7人除く）161名が納入（納入率 92%）

2021年度未納者 41名（2021年度会費の納付率 75.4% 昨年比 6.9%増）9/15入金時点

→以上の報告があった。

3. 入退会の動向と会員区分（山下）

(1) 入会希望者 4名

(2) 退会者 14名

①退会届提出者：10名

②会費未納による退会該当者：3名

③ご逝去による退会者：1名

(3) 会員数

2021年9月23日現在 183名（暫定会員含む）

※入退会承認後（2021年10月9日現在）173名（昨年度比 10名減）

→会費納入必要会員数 167名（名誉会員 6名）

(4) 会員区分

【会員区分内訳】（2021年10月9日入退会承認後 173名）

一般会員 155名

学生会員 12名

名誉会員 6名

（参考 家政学会：会員 97名、非会員 61名、不明 15名）

→以上の報告があった。

4. ニュースレター発行、HP更新、メルマガ配信の状況について（永田）

(1) ニュースレターの発行 2回（メール配信）

2021年 2/15（179通） 6/27（173通）

(2) HP更新、メルマガ配信の状況

・ホームページの更新 14回

2020年 10/2、10/10、10/27、11/10

2021年 1/20、3/4、4/6、6/28、7/1、7/15、7/20、8/26、9/2、9/8

・メールマガジンの発行 3回（第17～19号）

2020年 11/7（181通）

2021年 5/8（175通）、8/30（167通）

→以上の報告があった。

5. 部会誌の編集について（表）

(1) 第40号編集現況について、12月14日印刷完了・12月15日発行・12月24日発送（予定）
構成

特集Ⅰ 第40回家族関係学セミナー40周年記念行事

1. 元部会長からのご挨拶
2. 記念講演

特集Ⅱ 40周年記念シンポジウム

「多様な関係性を持つ家族への理解と支援—ステップファミリーに注目して—」

特集Ⅲ 家族関係学部会40周年編集委員会企画

「今後の家族問題をどうとらえるか—「家族関係学」の社会貢献—」趣旨説明、論文6本

資料 1本掲載予定（投稿1本）

政策動向 男女共同参画をめぐる政策動向

文献紹介 会員編著書 3本

(2) 部会誌印刷・発送費について(9月29日見積)

印刷費：No.40見積 132頁想定 @240冊	275,308円（税込）
非会員贈呈用抜き刷り30部 5名分	23,100円（税込）
発送費：発送業務委託	28,656円（税込）

(3) J-Stageについて

現状では、30号～39号までを公開中（37号除く）

J-Stage参照 https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/_pubinfo/-char/ja

→以上の報告があった。

6. 部会誌バックナンバー販売と保管の状況について（山下）

・部会誌販売の状況（2020.9.15～2021.9.23）

販売：No.30（1冊）、合計1冊

・部会誌の保管状況 合計162冊（9月23日現在）

30号	9
31号	8
32号	9
33号	6
34号	10
35号	10
36号	5
37号	31
38号	21
39号（最新号）	53

→以上の報告があった。

7. 2020年度（第40回）家族関係学セミナーについて（久保）

(1) 2020年10月10日（土）大会事務局：和洋女子大学 当日本部：お茶の水女子大学

(2) 40周年記念行事

部会長ご挨拶

元部会長からのご挨拶

袖井孝子氏（お茶の水女子大学名誉教授）

本村 汎氏（大阪市立大学名誉教授）

記念講演

長津美代子氏（群馬大学名誉教授）

「家族関係学部会の40年の活動を振り返る－家族関係学の更なる発展を目指して－」
優秀著書賞の発表

(3) 40周年記念シンポジウム

「多様な関係性を持つ家族への理解と支援－ステップファミリーに注目して－」

基調講演 野沢慎司氏（明治学院大学社会学部教授）

ステップファミリーと「多様な家族」の限界

－子どもの視点から壁を超える－

講演1 菊地真理氏（大阪産業大学経済学部准教授）

「多様な家族」の限界への挑戦

－再婚後の別居親子の継続と共同養育の実践－

講演2 緒倉珠巳氏（ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン代表）

支援を通して見えてきたステップファミリーの課題

－20周年を迎えるSAJの支援実践－

(4) 活動助成

2019年度日本家政学会活動助成金 85,000円

使途：「公開シンポジウム」の講師謝金（非会員2名、学会員1名）、印刷費

(5) 自由報告 2分科会 合計 12 報告

→実行委員長佐藤宏子会員代理として久保桂子会員より、以上の報告があった。

8. 2021年度（第41回）家族関係学セミナーについて（吉田）

(1) 2021年10月9日（土）オンライン開催

大会事務局：椋山女学園大学

(2) シンポジウム

「家庭科は多様な家族をどう教えるか」

報告1 村田晋太郎氏（三重大学 准教授）

家族を教える授業で育てる資質・能力とは？－コミュニケーションスキルに着目して－

報告2 綿引 伴子氏（金沢大学 教授）

家庭科で家族を学ぶ意味を考える

報告3 久保 翔太氏（愛知県南知多町立師崎中学校 教諭）

中学生を取り巻く家族のあり方と家庭科教育

報告4 山田 真希氏（愛知県立松蔭高等学校 教諭）

自分の中の家族を問う－高校家庭科での取り組み－

(3) 活動助成

2020年度日本家政学会活動助成金 80,000円

使途：「公開シンポジウム」の講師謝金（非会員3名、学会員1名）

(4) 自由報告 2分科会 合計 12 報告

→以上の報告があった。

9. 海外学術交流について（李）

・日韓学術交流について

2022年度の開催に向けて、準備を進めている。韓国側より、2022年年度セミナーの開催方法

（日本開催または、オンライン開催）にかかわらず参加する意向があるとの回答を得ている。シンポジウムのテーマが決まり次第、韓国側の先生と協議を行う予定である。

→以上の報告があった。

10. その他

→特になかった。

【協議事項】

1. 入退会者の承認（山下）

→報告事項3の入退会者（審議対象者）について承認された。

2. 2022年度（第42回）家族関係学セミナーについて（山根）

→大妻女子大学（実行委員長永田晴子会員）にて開催されることが承認された。

3. 2022年度事業計画（案）について（山根）【資料1】

→資料1のとおり承認された。

4. 2022年度収支予算書（案）について（大風）【資料2】

→資料2のとおり承認された。

5. その他

→特になかった。

付記

オンライン開催であったため、懇親会で実行委員の先生方をご紹介する時間を取れませんでした。ここに記して、実行委員の皆様をご紹介いたします。力を尽くしていただき、ありがとうございました。

委員長	吉田あけみ	会員
委員	安藤 究	会員
	石川周子	会員
	上野颯子	会員
	冬木春子	会員
	宮坂靖子	会員
	三輪聖子	会員
	室 雅子	会員

2022 年度事業計画（案）

1. 研究発表会、公開講演会等の開催
 - (1) 公開シンポジウム
日程：未定
会場：大妻女子大学
テーマ：未定 シンポジスト：未定
 - (2) 研究発表会
日程：未定
会場：大妻女子大学

2. 部会誌の刊行
「家族関係学」No.41 2022 年 12 月 1 日刊行予定

3. 部会誌の J-STAGE 公開
「家族関係学」No.41、バックナンバーの J-Stage 登載

4. 研究及び調査の実施
実施せず

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰
実施せず

6. その他、目的を達成するために必要な事業
 - (1) ニュースレターの発行 2 回
 - (2) ホームページの管理・更新、メルマガの配信

7. 部会総会等の開催
 - (1) 2022 年度通常総会
2022 年度家族関係学セミナーのなかで開催する。
 - (2) 部会役員会、各種役員会等
 - ・役員会の開催（年 2 回）
 - ・第 42 回家族関係学セミナー実行委員会（4 回）
 - ・部会誌編集委員会 10 回（メール会議）
 - ・選挙管理委員会（3 回）
 - ・その他

8. その他

【資料2】

一般社団法人日本家政学会家族関係学部会 2022 年度予算書（案）

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：円)

科目	注意	2022年度	2021年度	差異	備考
一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	(本部のみ)				
特定資産運用益	大会基金となっている定期預金の利息			0	
入会金				0	
年会費		770,000	870,000	▲ 100,000	一般会員5000円×150人+学生会員2000円×10人
会誌購読料		32,340	32,340	0	定期購読14団体×2,310
大会等参加費		285,000	372,500	▲ 87,500	大会参加3000円×50名、懇親会費4500×30名
広告料				0	
刊行物売上		2,000	2,000	0	
著者負担金		0	0	0	2020年度著者負担金廃止による
補助金	(名称と交付者を備考欄に記載願います。)				
一般寄付金	活動全般に使ってよい寄付金				
特別寄付金	使途を限定した寄付金				
雑収入	普通預金利息	100	100	0	
②本部からの支部費	(支部のみ、選挙の為の通信費も含む)				
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)				
本部からの活動助成費	活動助成金全額(税金も含む)	85,000	80,000	5,000	2020年度実績ベース
経常収益計		1,174,440	1,356,940	▲ 182,500	
(2) 経常費用					
①事業費		1,299,000	1,358,000	▲ 59,000	
大会会場使用料		40,000	40,000	0	大妻の会場費
大会講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)				
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い				
大会消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む	260,000	236,000	24,000	懇親会、弁当代、お菓子、文具、会合費、韓国ゲスト食費を含む
大会印刷費					
大会研究発表要旨集作成費		75,000	78,000	▲ 3,000	2019年実績ベース
大会通信運搬費		30,000	10,000	20,000	2019年度実績ベース
大会臨時雇賃金					
総会費					
セミナー・講演会等会場使用料					
セミナー・講演会等講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)	70,000	100,000	▲ 30,000	韓国ゲストへの謝金は不要、外部講師2名として税込み7万円を実績ベースで計上
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	60,000	5,000	55,000	韓国分は大会消耗品費で計上、シンポジストなどの交通費
セミナー・講演会等消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む				
セミナー・講演会等印刷費					
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費					
セミナー・講演会等通信運搬費					
セミナー・講演会等臨時雇賃金		48,000	48,000	0	学生アルバイト等
学会誌等関連印刷費		250,000	320,000	▲ 70,000	2020年度実績ベース
学会誌等関連通信費		30,000	80,000	▲ 50,000	2020年度実績ベース
学会誌等関連原稿料・校閲料等		10,000	10,000	0	2020年度実績ベース
学会誌等関連電子ジャーナル化費用		310,000	120,000	190,000	J-stage登録費用：41号含み計5号アップロード(41号:5万円、その他:6.5万円)
研究補助費					
表彰費	奨励賞等	0	0	0	
関連学会等会費					
会議費	会議用のお菓子、お茶等	0	25,000	▲ 25,000	オンライン開催のためなし
広報費	ホームページ等	40,000	60,000	▲ 20,000	HP管理更新費・作業費、メルマガ、ニューズレター配信費、2020年度実績ベース
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	10,000	10,000	0	
事務委託費		60,000	120,000	▲ 60,000	2020年度実績ベース
支払負担金	振込手数料	6,000	6,000	0	2020年度実績ベース
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費	0	90,000	▲ 90,000	表彰なしのため不要
②管理費		110,000	100,000	10,000	
給料手当		10,000	10,000	0	年会費発送補助
福利厚生費					
旅費交通費	(本部のみ)				
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	70,000	30,000	40,000	選挙費用16000円+55,000円 (2020年度実績ベース)
備品費					
消耗品費	大会、セミナー・講演会関連以外の消耗品	10,000	30,000	▲ 20,000	2020年度実績ベース
光熱水料費					
雑費	(本部のみ)				
租税公課	(法人税、消費税等本部のみ計上)				
地代	(本部のみ)				
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費	20,000	30,000	▲ 10,000	2020年度実績ベース
修繕費					
減価償却費	(本部のみ)				
リース料					
事務所管理費					
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)				
③支部費					
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)				
活動助成費					
経常費用計		1,409,000	1,458,000	▲ 49,000	
当期経常増減額		▲ 234,560	▲ 101,060	▲ 133,500	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出なのでほぼ該当なし)				
(2) 経常外費用					
当期経常外増減額					
当期一般正味財産増減額		▲ 234,560	▲ 101,060	▲ 133,500	
一般正味財産期首残高	(2021年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,098,114	3,098,114	0	
一般正味財産期末残高	(2022年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	2,863,554	2,997,054	▲ 133,500	